

マイグレーションガイド

# Novell. ZENworks® 10 Asset Management SP2

10.2

2009年5月27日

[www.novell.com](http://www.novell.com)



## 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007–2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.  
404 Wyman Street, Suite 500  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.  
[www.novell.com](http://www.novell.com)

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

## **Novell の商標**

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

## **サードパーティ資料**

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

このガイドについて	7
<b>1 マイグレーションユーティリティの使用</b>	<b>9</b>
1.1 開始準備	9
1.2 概要	10
1.2.1 システム要件	11
1.2.2 マイグレーションプロセス	12
1.3 マイグレーションユーティリティのインストール	13
1.4 マイグレーション元の選択	14
1.5 マイグレーション先の選択	16
1.6 オブジェクトのマイグレート	17
1.6.1 インベントリデータのマイグレート	18
1.6.2 管理者定義フィールドの定義のマイグレート	20
1.6.3 ローカル製品の定義のマイグレート	21
1.6.4 アセット管理データのマイグレート	22
1.6.5 アセット管理データのみをマイグレート	23
1.6.6 ライセンス記録のマイグレート	24
1.6.7 カスタムレポートのマイグレート	25
1.6.8 マイグレーションパフォーマンスのガイドライン	28
<b>2 マイグレーションコンソールの参照</b>	<b>29</b>
2.1 メニューオプション	30
2.2 [移行するオブジェクトの選択] タブ	30
2.3 [移行する項目] タブ	32
2.4 [マイグレーションステータス] タブ	32
2.5 [マイグレーション履歴] タブ	32
2.6 [移行済みオブジェクト] タブ	32
2.7 [ZAM 7.5 データベースを選択] フィールド	32
2.8 [ゾーンを選択] フィールド	34
2.9 [マイグレーションの開始] ボタン	35
2.10 [キャンセル] ボタン	35
2.11 マイグレーションキューの進行状況	35
2.12 マイグレーションタスクプロセス	35
<b>A ZENworks オブジェクトとその一意性</b>	<b>37</b>
A.1 重複オブジェクトの詳細	37
A.1.1 購入レコード	38
A.1.2 カタログ製品	38
A.1.3 ライセンス製品	38
A.1.4 検出された製品	38
A.1.5 ソフトウェアコレクション	38
A.1.6 契約	38
A.1.7 日付通知	39
A.1.8 文書	39
<b>用語集</b>	<b>41</b>



# このガイドについて

本『Novell ZENworks 10 Asset Management マイグレーションガイド』には、選択されたインベントリおよびアセット管理データを、ZENworks<sup>®</sup> Asset Management 7.5 からインストール済みの Novell<sup>®</sup> ZENworks 10 Asset Management システムに正常にマイグレートするために役立つ情報が含まれています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「マイグレーションユーティリティの使用」
- ◆ 29 ページの第 2 章「マイグレーションコンソールの参照」
- ◆ 37 ページの付録 A「ZENworks オブジェクトとその一意性」
- ◆ 41 ページの「用語集」

## 対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

## フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

## 追加のマニュアル

ZENworks 10 Asset Management には、製品の概要とその実装方法を説明したその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。ZENworks 10 Asset Management のマニュアル (<http://www.novell.com/documentation/zam10/index.html>) を参照してください。

## マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (\*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (l) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux\* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。



# マイグレーションユーティリティの 使用

# 1

次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Asset Management マイグレーションユーティリティを使用して ZENworks Asset Management 7.5 からデータをマイグレートする方法を説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「開始準備」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2 「概要」
- ◆ 13 ページのセクション 1.3 「マイグレーションユーティリティのインストール」
- ◆ 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」
- ◆ 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」
- ◆ 17 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」

## 1.1 開始準備

ZENworks Asset Management 7.5 から ZENworks 10 Asset Management へのデータマイグレーションを開始する前に、次の点を確認してください。

- ◆ ソースおよびマイグレーション先の両方のデータベースをバックアップする必要があります。
- ◆ マイグレーションユーティリティを実行する前に、ZENworks Asset Management 7.5 のインベントリプロセスをオフにします。
- ◆ 古いマイグレーションユーティリティバージョンでインベントリデータをマイグレートした場合は、同じバージョンを使用してアセット管理データをマイグレートする必要があります。
- ◆ 使用するマイグレーションユーティリティバージョンは、ZENworks Management Zone のバージョンと一致している必要があります。マイグレーションユーティリティは、バージョン番号が一致しないゾーンには接続できません。
- ◆ オブジェクトは一度しかマイグレートできません。
- ◆ ネットワークデバイスはマイグレートできません。
- ◆ インベントリデータは、アセット管理データの前にマイグレートする必要があります。ステージマイグレーションを実行する場合は、すべてのステージングが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。ステージングの詳細については、18 ページの「マイグレーションのステージング」を参照してください。
- ◆ すべてのカスタムレポートがマイグレートされるわけではありません。マイグレートされないカスタムレポートの一覧については、25 ページのセクション 1.6.7 「カスタムレポートのマイグレート」を参照してください。

- ◆ SQL サーバのマイグレーション時には、ファイルサイズに関する次の推奨内容を考慮してください。
  - ◆ マイグレーション先データファイルは、マイグレーション元のデータファイルの 1.1 倍以上なければなりません。
  - ◆ マイグレーション先ログファイルは、マイグレーション元のデータファイルの 1.2 倍以上なければなりません。
- ◆ 同じアセット管理データの一部が含まれたデータインストールをマイグレートすると、マイグレーションプロセス中にマイグレーションエラーが発生したり、失敗することがあります。詳細については、[37 ページの「ZENworks オブジェクトとその一意性」](#)を参照してください。
- ◆ マイグレーションパフォーマンスを向上するため、開始前に ZENworks Asset Management 7.5 データベースをパーティションしておくことを強く推奨します。詳細については、[28 ページのセクション 1.6.8 「マイグレーションパフォーマンスのガイドライン」](#)を参照してください。

## 1.2 概要

マイグレーションユーティリティを使用して、ZENworks Asset Management 7.5 収集ドメインで定義されたインベントリデータ、およびアセット管理データをマイグレートできます。このデータには次のものが含まれます。

- ◆ インベントリデータ
  - ◆ デバイス (必要に応じて、削除済みのデバイスを含みます。([18 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータのマイグレート」](#)を参照してください))。
  - ◆ デバイス履歴
  - ◆ ローカルソフトウェア製品
  - ◆ ハードウェア/ソフトウェアコンポーネント
  - ◆ 管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 のユーザ定義フィールド)
  - ◆ カスタムレポート
- ◆ アセット管理データ
  - ◆ アセット管理使用データ
  - ◆ アセット管理カスタムレポート
  - ◆ アセット管理管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 のユーザ定義フィールド)
  - ◆ カタログ製品
  - ◆ 検出された製品
  - ◆ 購買記録
  - ◆ ライセンス製品
  - ◆ ソフトウェアコレクション
  - ◆ 契約および日付の通知
  - ◆ 文書

ネットワークデバイスと契約ネットワークの関係はマイグレートされません。ネットワークデバイスと契約ネットワークの関係は、ZENworks 10 Asset Management 内でネットワーク検出プロセスが実行された後、再構築できます。

インベントリデータは、個々のデバイスによってまたはグループとしてマイグレートできます。アセット管理データはグループとしてマイグレートされます。

インベントリデータをマイグレートするとき、デフォルトで次のものもマイグレートされます。

- ◆ **ローカル製品の定義** : ZENworks Asset Management 7.5 で定義されているローカル製品の定義。これらの製品の定義はグループとしてマイグレートされ、個別にマイグレートすることはできません。インベントリデータを含めずにローカル製品の定義だけをマイグレートする場合は、[21 ページの「ローカル製品の定義のマイグレート」](#)を参照してください。
- ◆ **管理者定義フィールドの定義** : ZENworks Asset Management 7.5 で定義されているアセット管理およびインベントリの管理者定義フィールド。(管理者定義フィールドは ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドとして知られています。) これらのフィールド定義はグループとしてマイグレートされます。個別にはマイグレートされません。インベントリデータを含めずに管理者定義フィールドの定義だけをマイグレートする場合は、[9 ページの「マイグレーションユーティリティの使用」](#)を参照してください。
- ◆ **カスタムレポート** : ZENworks Asset Management 7.5 で定義されているアセット管理およびインベントリのカスタムレポート。レポートはグループとしてマイグレートされます。インベントリデータを含めずにカスタムレポートだけをマイグレートする場合は、[25 ページの「カスタムレポートのマイグレート」](#)を参照してください。

インベントリデータをマイグレートすると、次のアセット管理データもマイグレートされます。

- ◆ 使用データ
- ◆ カスタムレポート
- ◆ 管理者定義フィールド

## 1.2.1 システム要件

マイグレーションユーティリティには次の要件が必要です。

- ◆ Windows\* XP Professional 5.1 SP 2、Windows XP Professional 5.1 SP 3、Windows Vista\* SP1 x86、Windows Server\* 2003 5.2 SP2、または Windows Server 2008 x86。Windows 2000 および Windows 2008 はサポートされていません。
- ◆ マイグレーション元とマイグレーション先データベースサーバへのネットワーク接続
- ◆ マイグレーション元 :ZENworks Asset Management 7.5
- ◆ マイグレーション先 :ZENworks 10 Asset Management
- ◆ Microsoft .NET Framework Version 2.0 再頒布可能パッケージ (x86)
- ◆ (オプション)ZENworks 10 Asset Management。この製品は、マイグレーション済みのアセット管理データを表示するために必要です。

次のデータベースの組み合わせで、データをマイグレートすることができます。

- ◆ SQL サーバから SQL サーバへ

- ◆ SQL サーバから Sybase へ
- ◆ Oracle から Oracle へ

マイグレーションが可能な Oracle データベースは、Oracle 9.2、Oracle 10.1、または Oracle 10.2 です。Oracle データベースを使用している場合は、次の点を確認してください。

- ◆ マイグレーションユーティリティを実行するマシン上に、Oracle クライアントがインストールされていなければなりません。バージョン 10.1 および 10.2 の場合は、InstantClient ではなく、Administrator でなければなりません。
- ◆ Oracle 10.2 クライアントの場合は、5473334 (Doc ID 387818.1) のパッチを適用しなければなりません。パッチ内に含まれている複数のデータアクセスコンポーネントのうち、Oracle Provider for OLEDB 10.2.0.2.20 が必要です。
- ◆ TNSNAMES.ORA には、マイグレーション元とマイグレーション先の両方のデータベースサービスのエントリが含まれていなければなりません。これらのエントリを自動的に作成するには、Oracle Enterprise Manager Console または Net Configuration Assistant—Local Net Service Name の環境設定を使用して、ZENworks Asset Management 7.5 と ZENworks 10 Asset Management のデータベースにログオンします。エントリに使用する名前は、対応するサービス名と正確に一致している必要があります。
- ◆ Oracle bin ディレクトリ (たとえば C:\oracle\product\10.2.0\client\_1\BIN) は PATH 設定内に含める必要がありますが、他の Oracle 製品とインストール用のディレクトリは PATH 設定内に含めてはなりません。
- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 Oracle データベース (デフォルトでは NCSYSTEM) のスキーマに関連付けられているユーザは、マイグレーション実行中に「DBA」の役割を担う必要があります (デフォルトでは、NCSYSTEM だけが「CONNECT」の役割を担います)。

## 1.2.2 マイグレーションプロセス

オブジェクト (インベントリデータ、カスタムレポートなど) のマイグレーションは次の 6 段階で行います。

1. マイグレーションユーティリティのインストール。詳細については、[13 ページのセクション 1.3 「マイグレーションユーティリティのインストール」](#) を参照してください。
2. マイグレート前およびそれぞれのステージングが正常に終了した後のソースとマイグレート先データベースのバックアップ。
3. マイグレーション元の選択。詳細については、[14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」](#) を参照してください。
4. マイグレーション先の選択。詳細については、[16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#) を参照してください。

たとえばパイロットマイグレーションなど、以前に宛先ゾーンを選択済みの場合、ZENworks Asset Management 7.5 ソースデータベースに保存されているマイグレーションステータスデータをクリアするかどうかを問うメッセージが表示されます。これはマイグレーション先を変更する場合に必要です。マイグレーションステータスデータをクリアするには [OK] をクリックします。

---

**警告:** マイグレーション先を再選択することはできません。たとえば、パイロットマイグレーションの宛先を選択する場合、運用先に切り替えます。パイロット先に戻ることにはできません。

---

## 5. マイグレートするオブジェクトを選択します。

管理者定義フィールドの定義、ローカル製品の定義、およびカスタムレポートは、インベントリデータが最初にマイグレートされるときにデフォルトでマイグレートされます。これらを別々にマイグレートするには、[17 ページのセクション 1.6「オブジェクトのマイグレート」](#)を参照してください。いくつかのカスタムレポートは、データベーススキーマが変更されているためマイグレートされないものがあります。詳細については、[25 ページのセクション 1.6.7「カスタムレポートのマイグレート」](#)を参照してください。

マイグレートするオブジェクトを選択する際は、次のことに注意してください。

- インベントリデータとアセット管理データは、同じバージョンのマイグレーションユーティリティを使用してマイグレートする必要があります。
- オブジェクトは一度しかマイグレートできません。
- インベントリデータは、アセット管理データの前にマイグレートする必要があります。
- インベントリされていないワークステーションはマイグレートされません。さらに、ワークステーションが契約に関連付けられている場合、契約ワークステーションの関係もマイグレートされません。

ステージワークステーションを実行する場合は、マイグレートするワークステーションのサブセットを選択します。ステージングが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。ステージングの詳細については、[18 ページの「マイグレーションのステージング」](#)を参照してください。

## 6. マイグレーションの開始

マイグレーションは、マイグレートするデータベースの大きさによっては、完了するのに数時間かかる場合があります。マイグレーション中、マイグレーションユーティリティの応答がなくなることがあります。マイグレーションが中断またはキャンセルされた場合、再び開始できます。マイグレーションは、マイグレーションプロセスで最後にマイグレートしたレコードから継続されます。マイグレーションプロセスの実行中にエラーが表示されても、無視できます。詳細については、[17 ページのセクション 1.6「オブジェクトのマイグレート」](#)を参照してください。

# 1.3 マイグレーションユーティリティのインストール

マイグレーションユーティリティのインストール方法には2通りあり、Web ブラウザまたはZENworks コントロールセンターのいずれかを使用できます。

---

**注：**マイグレーションユーティリティのインストール前に、Microsoft .NET Framework Version 2.0 Redistributable Package (x86) をインストールしておく必要があります。

---

Web ブラウザを使用してユーティリティをインストールするには、次の手順に従います。

### 1 Web ブラウザで、次の URL に移動します。

`http://zenworks_primary_server_id/zenworks-setup`

### 2 [管理ツール] をクリックして、ZAMMigration.exe を一時ロケーションにダウンロードします。

- 3 ZAMmigration.exe を実行して、ワークステーションにインストールします。
- 4 サポートされている Windows デバイスでユーティリティを実行するには、[スタート] > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。

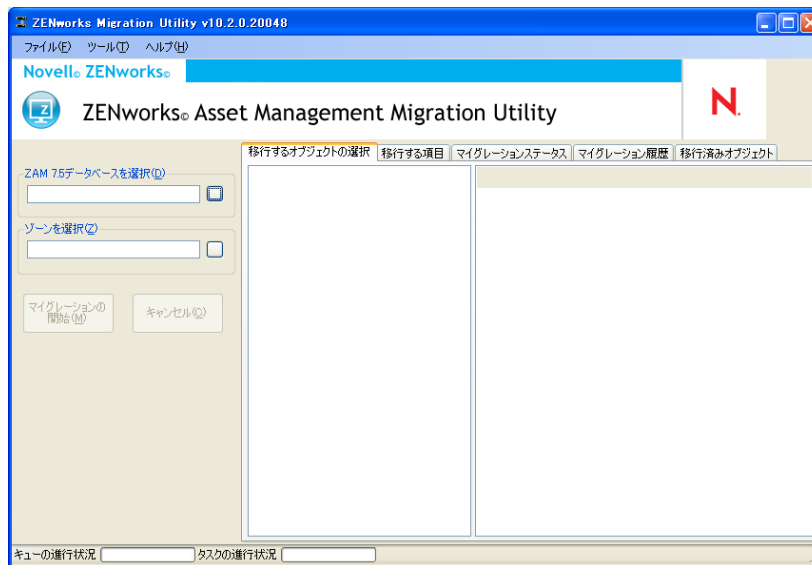
ZENworks 10 コントロールセンターを使用してユーティリティをインストールするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks 10 コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [環境設定タスク] リストで、[ZENworks ツールのダウンロード] をクリックします。
- 3 [管理ツール] をクリックします。
- 4 ZAMmigration.exe をクリックしてハードドライブに保存します。
- 5 ZAMmigration.exe を実行して、ワークステーションにインストールします。
- 6 サポートされている Windows デバイスでユーティリティを実行するには、[スタート] > [プログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。

## 1.4 マイグレーション元の選択

マイグレーションソースは ZENworks Asset Management 7.5 データベースです。マイグレーションユーティリティでは、作成、変更、削除の特権を使用して、マイグレーション元にログインする必要があります。データベースにログインする。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。



- 2 [ZAM 7.5 データベースを選択] フィールドの横のボタンをクリックします。Microsoft SQL のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'ZAMデータベースログイン' (ZAM Database Login) dialog box. The title bar includes the Novell ZENworks logo and the text 'ZENworks Asset Management Migration Utility'. The dialog contains the following fields and controls:

- データベースタイプ (D):** A dropdown menu set to 'MS SQL Server 2005 Express'.
- サーバ (S):** A text input field containing 'engsql01'.
- データベース (D):** A text input field containing 'Utopia'.
- ユーザ名 (U):** A text input field containing 'administrator'.
- パスワード (P):** A password input field with masked characters '\*\*\*\*\*'.
- Buttons:** '接続テスト (C)', 'ヘルプ (H)', 'OK', and 'キャンセル'.

Oracle のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

The screenshot shows the 'ZAMデータベースログイン' (ZAM Database Login) dialog box for Oracle. The title bar and header are identical to the MS SQL version. The dialog contains the following fields and controls:

- データベースタイプ (D):** A dropdown menu set to 'Oracle 9i/10g'.
- サービス名 (S):** A text input field containing 'lnx102c.lbn'.
- ユーザ名 (U):** A text input field containing 'NCSYSTEM'.
- パスワード (P):** An empty password input field.
- Buttons:** '接続テスト (C)', 'ヘルプ (H)', 'OK', and 'キャンセル'.

**3** 次のフィールドに入力します。

**データベースタイプ:** データベースタイプを指定します。たとえば、外部および組み込み MS SQL Server の両方のデータベースに、[MS SQL Server 2000/2005] を指定します。または、最新の Oracle データベースタイプに、[Oracle 9i/10g] を指定します。

**データベースサーバ:** データベースサーバの DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサーバがここに表示されます。

**データベース** : データベース名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたデータベースがここに表示されます。

**サービス名** : Oracle のマイグレーションでは、サービス名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサービスがここに表示されます。

**ユーザ名** : ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

**パスワード** : パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

4 [OK] をクリックして接続します。最初に [テスト接続] をクリックして、データベースに接続可能であることを確認します。

5 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」に進みます。

## 1.5 マイグレーション先の選択

ZENworks 10 Asset Management のマイグレーション元の管理ゾーンへログインするには、次の手順に従います。

1 マイグレーション元が選択済みであることを確認します (14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」を参照してください)。

2 マイグレーションコンソールで、[ゾーンを選択] フィールドの右にあるボタンをクリックします。

パイロットマイグレーションなど、以前に宛先ゾーンを選択済みの場合、ZENworks Asset Management 7.5 ソースデータベースに保存されているマイグレーションステータスデータをクリアするかどうかを問うメッセージが表示されます。これはマイグレーション先を変更する場合に必要です。マイグレーションステータスデータをクリアするには [OK] をクリックします。

**警告** : マイグレーション先を再選択することはできません。たとえば、パイロットマイグレーションの宛先を選択する場合、運用先に切り替えます。パイロット先に戻ることはできません。

3 次のフィールドを入力して、宛先の管理ゾーンに認証します。

**ゾーン:** 管理ゾーンを指定します。このフィールドは、*[Zone Login (ゾーンログイン)]* ダイアログボックスに最初にアクセスしたときには表示されません。その後、このダイアログボックスを使用して前にログインしたゾーンは、ドロップダウンリストから使用可能になります。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたゾーンがここに表示されます。

**ユーザ名:** ゾーンのユーザ名を指定します。通常は *[管理者]* を使用します。これが、マイグレーションコンソールを使用してこのゾーンにログインした最初の場合は、何も表示されません。最初でない場合は、最後に使用したユーザ名が表示されます。*[ゾーン]* フィールドで管理ゾーンを選択する場合は、このフィールドには、そのゾーンで最後に使用したユーザ名が自動的に入力されます。

**パスワード:** パスワードを指定します。これは、認証のたびに入力する必要があります。

**プライマリサーバ:** DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このフィールドは、管理ゾーンを *[ゾーン]* フィールドで選択する場合には、自動的に入力されます。

**ポート:** ZENworks プライマリサーバの標準ポートは 443 です。サーバが別なポートを使用している場合は、ポート番号を指定します。

#### 4 *[OK]* をクリックします。

*[移行するオブジェクトの選択]* タブには、各グループのオブジェクト数と共にマイグレートするために使用できるオブジェクトグループが表示されます。

#### 5 [17 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」](#)に進みます。

## 1.6 オブジェクトのマイグレート

各グループのオブジェクトのマイグレートの詳細については、次のトピックを参照してください。異なるタイプのオブジェクトをマイグレートするための手順は個別に提示されていますが、1 回につき 1 つのタイプのオブジェクトだけをマイグレートする必要はありません。すべてのデータを一度にマイグレート、またはマイグレートするデータを選択することもできます。インベントリデータをマイグレートするとき、デフォルトで管理者定義フィールド、ローカル製品の定義、およびカスタムレポートの定義がマイグレートされます。

マイグレートするオブジェクトを選択する際は、次のことに注意してください。

- ◆ オブジェクトは一度しかマイグレートできません。
- ◆ インベントリデータは、アセット管理データの前にマイグレートする必要があります。
- ◆ インベントリデータとアセット管理データは、同じバージョンのマイグレーションユーティリティを使用してマイグレートする必要があります。
- ◆ インベントリされていないワークステーションはマイグレートされません。さらに、ワークステーションが契約に関連付けられている場合、契約ワークステーションの関係もマイグレートされません。

ステージワークステーションを実行する場合は、マイグレートするワークステーションのサブセットを選択します。ステージングが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。ステージングの詳細については、[18 ページの「マイグレーションのステージング」](#)を参照してください。

定義だけをマイグレートする場合は、次の関連項目を参照してください。

- ◆ 18 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータのマイグレート」
- ◆ 20 ページのセクション 1.6.2 「管理者定義フィールドの定義のマイグレート」
- ◆ 21 ページのセクション 1.6.3 「ローカル製品の定義のマイグレート」
- ◆ 22 ページのセクション 1.6.4 「アセット管理データのマイグレート」
- ◆ 23 ページのセクション 1.6.5 「アセット管理データのみをマイグレート」
- ◆ 24 ページのセクション 1.6.6 「ライセンス記録のマイグレート」
- ◆ 25 ページのセクション 1.6.7 「カスタムレポートのマイグレート」
- ◆ 28 ページのセクション 1.6.8 「マイグレーションパフォーマンスのガイドライン」

コンソールマイグレーションの詳細については、29 ページの第 2 章「マイグレーションコンソールの参照」を参照してください。

## 1.6.1 インベントリデータのマイグレート

インベントリデータをマイグレートするとき、デフォルトで次のものもマイグレートされます。

- ◆ デバイス ( 必要に応じて、削除としてマークされているワークステーションを含む。詳細については、18 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータのマイグレート」を参照してください)。
- ◆ デバイス履歴
- ◆ ローカルソフトウェア製品
- ◆ ハードウェア / ソフトウェアコンポーネント
- ◆ アセット管理使用データ
- ◆ インベントリおよびアセット管理管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 のユーザ定義フィールド)
- ◆ インベントリおよびアセット管理カスタムレポート

---

**注:** [Migrate All Inventory Data(すべてのインベントリデータをマイグレート)] オプションは、Oracle データベースのマイグレーションでは使用できません。

---

### マイグレーションのステージング

マイグレートするワークステーションのサブセットを選択して、ステージマイグレーションを実行できます。使用データおよびインベントリデータは、ワークステーションがマイグレートされる時マイグレートされます。最初のワークステーションのマイグレーションの後 ZENworks Asset Management 7.5 に累積された追加の使用データおよびインベントリデータはマイグレートされません。

---

**注:** ステージングが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。

---

## 削除済みワークステーションのマイグレート

ZENworks Asset Management 7.5 で削除済みとしてマークされたワークステーションを ZENworks 10 Asset Management にマイグレートできます。マイグレーションの後、これらのワークステーションは、ZENworks Control Center の検出デバイスとして表示されますが ( [デバイス]、[検出済み]、[ZENworks Asset Management マイグレーション経由で作成されたデバイス] の順に選択)、アセット管理レポートからは削除されます。削除済みワークステーションのマイグレートの詳細については、19 ページのステップ 5 を参照してください。

## インベントリデータのマイグレート

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」 および 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 [移行するオブジェクトの選択] タブをクリックします。

名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子
CBT101	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	8995614f-c29a-4af0-b31a-4a9acd6c6c9dd
CBT102	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7b7cc14-8d1c-44f9-8a24-e8a7cbd81fae
CBT103	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e13620a3-e709-4d9c-9b4b-57912c395982
CBT104	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9b31ab3-44d5-4a79-8963-24076ba2056f
CBT105	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea0b9898-1be6-4907-94e3-1b583b007b7c
CBT106	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2a3d9147-9cef-49e1-8413-24313572d60d
CBT107	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2f61db7e-cbab-4439-a017-47a41841b106
CBT108	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	761e19c3-99d3-461e-8e9b-406661e341ca
CBT109	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2b68db3e-445b-4c4f-8a80-1794b02e6ca8
CBT110	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6a36c327-79d9-4bb3-addd-d5247116b9d
CBT111	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7211b256-29e0-4366-8103-cdbdbd2b4e0a
CBT112	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6d35657c-9102-466d-89c0-0b46183ae201
CBT113	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9d560a1b-3956-4271-b9d6-6d4810971c7
CBT114	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	add35ae-c6d1-4987-90a4-273d1ce521c
CBT115	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	b3e6704c-d4f7-46f5-bc79-56604bcd9525
CBT116	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	c09cc379-9a95-4715-949e-4632407bb395
CBT117	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	09015715-278-471d-953a-74a0382d691
CBT118	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a2beeac6-6bbd-432c-a397-9e804ac7799
CBT119	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fd59f823-a2be-4588-9112-2b95d711ccbc
CBT120	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6b68edaa-294a-4bd7-a41e-49227cf89d4c
CBT121	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e3cb2de-b1a6-47fb-9fed-d8ce5ae2b1ce
CBT122	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	33c-a157d-e620-44ae-a86a-973b7724b4c4
CBT123	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	30f2bad-02da-4984-9770-6a50d1926179
CBT124	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	1650bc31-63b0-40e1-9e1c-55fcca8bb142
CBT125	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fa73b597-9b3e-414b-b8ea-08ced28868
CBT126	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fe440a0-63df-4924-986c-bbcc099ab14f
CBT127	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	34ce1be-d650-4272-ac41-44d1907c02e
CBT128	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6401e911-7313-407e-ab65-7c537c52ae80
CBT129	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea52d457-4067-48bd-9765-6407d9058bed
CBT130	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	90453656-4261-4655-931e-b4f51ac97c1e
CBT131	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	465b094-1611-4be2-b09a-76d11e9d768a
CBT132	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a8ad05ca-4ce1-4b9b-9b77-364706dfb0bb
CBT133	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a1e805c2-7211-4a41-888a-3a41107a-30734c

- 4 [インベントリ] をクリックして目的のコレクションドメインおよびコレクションサーバを選択します。  
右側にワークステーションのリストが表示されます。
- 5 マイグレートするデータを選択します。
  - すべてのワークステーションを選択するには、[インベントリ] を右クリックして、[すべてのインベントリデータをマイグレート] を選択します。( [Migrate All Inventory Data(すべてのインベントリデータをマイグレート)] オプションは、Oracle のマイグレートでは使用できません。)
  - 個別のワークステーションを選択するには、パネルの右側に一覧表示されているワークステーションを右クリックし、[Add Item(s) To Migration Queue (マイグレーションキューに項目を追加)] を選択します。複数の項目を選択するには、<Shift> または <Ctrl> を押しなが項目をクリックします。

---

**注:** 削除としてマークされているワークステーションをマイグレートするには、**[ツール] > [オプション]** の順にクリックして、**[削除済みワークステーションのマイグレート]** を選択します。

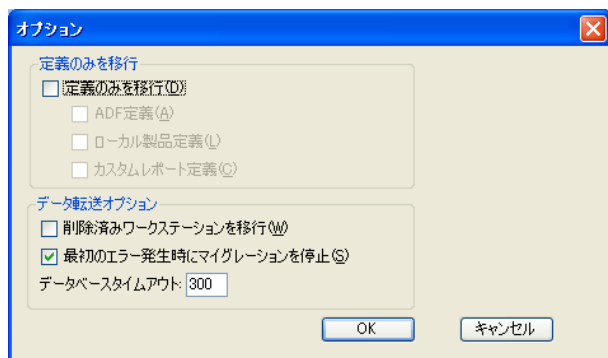
---

- 6 (オプション) マイグレーションリストからワークステーションを削除するには、**[移行する項目]** タブをクリックしてワークステーションを右クリックし、**[Remove Item(s) from Migration Queue (マイグレーションキューから項目を削除)]** を選択します。
- 7 **[Start Migration (マイグレーションの開始)]** をクリックします。  
**[マイグレーションステータス]** タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。マイグレートされたワークステーションは、ZENworks Control Center の検出デバイスとして表示されます (**[デバイス] > [検出済み] > [ZENworks Asset Management マイグレーション経由で作成されたデバイス]** の順に選択)。

## 1.6.2 管理者定義フィールドの定義のマイグレート

アセット管理およびインベントリの管理者定義フィールドの定義は、最初にインベントリのマイグレーションが実行されるときに自動的にマイグレートされます。(アセット管理管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドとして知られています。) インベントリデータではなく、管理者定義フィールドだけをマイグレートする場合は、次を実行します。

- 1 **[スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ]** の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」 および 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 **[ツール] > [オプション]** の順にクリックして、**[オプション]** ウィンドウを開きます。



- 4 **[定義のみを移行]** を選択します。
- 5 **[ADF 定義]** を選択します。
- 6 **[OK]** をクリックします。
- 7 **[User Defined Fields (ユーザ定義フィールド)]** を右クリックし、**[Migrate All User Defined Fields (すべてのユーザ定義フィールドのマイグレート)]** を選択します。

[移行する項目] タブにユーザ定義フィールドの数が表示されます。リストからユーザ定義フィールドを削除するには、[移行する項目] タブをクリックし、[すべてのユーザ定義フィールド] を右クリックして、[マイグレーションキューからすべてのユーザ定義フィールドを削除] を選択します。ユーザ定義フィールドは個別にはマイグレートできません。

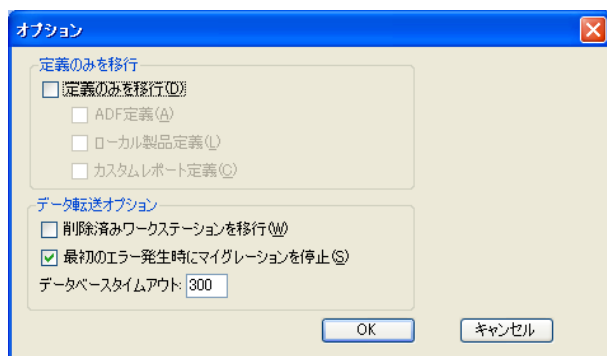
8 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。

[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。プロセスを停止するには、[キャンセル] をクリックします。

### 1.6.3 ローカル製品の定義のマイグレート

ローカル製品の定義は、最初にインベントリのマイグレーションが実行されるとき自動的にマイグレートされます。インベントリデータではなく、ローカル製品の定義だけをマイグレートする場合は、次を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」 および 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを開きます。



4 [定義のみを移行] を選択します。

5 [ローカル製品の定義] を選択します。

6 [OK] をクリックします。

7 [ローカル製品] を右クリックして [すべてのローカル製品の定義をマイグレート] を選択します。

8 (オプション) マイグレーションリストからローカル製品の定義を削除するには、[移行する項目] をクリックし、次に [すべてのローカル製品の定義] を右クリックして [マイグレーションキューからすべてのローカル製品の定義を削除] を選択します。

9 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。

[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

## 1.6.4 アセット管理データのマイグレート

アセット管理データのマイグレートには、次のものが含まれます。

- ◆ カタログ製品
- ◆ 検出された製品
- ◆ 購買記録
- ◆ ライセンス製品 ( ライセンス製品のマイグレーションの詳細については、[24 ページのセクション 1.6.6 「ライセンス記録のマイグレート」](#) を参照してください。 )
- ◆ ソフトウェアコレクション
- ◆ 契約および日付の通知
- ◆ 文書
- ◆ 次の除くライセンスの割り当て：
  - ◆ 「アップグレード元」のライセンス製品に関連する割り当て
  - ◆ 人口統計値が「なし」の場合に関連する人口統計割り当て

**注：**ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なカタログ製品とライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

**警告：**すべてのインベントリワークステーションのマイグレートが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。

アセット管理データをマイグレーションする

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。
- 2 [14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」](#) および [16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#) に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 [移行するするオブジェクトの選択] タブをクリックします。

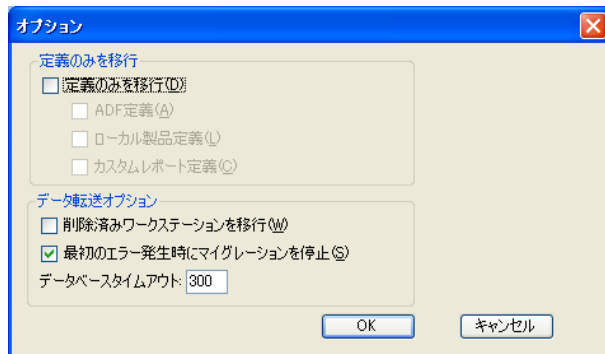
移行するオブジェクトの選択	移行する項目	マイグレーションステータス	マイグレーション履歴	移行済みオブジェクト
インベントリ	名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 収集ドメイン LFT-BRE</li> <li>○ 収集ドメイン LFT-FRA</li> <li>○ コレクションサーバ SNT-FRALFT-AP</li> <li>○ 収集ドメイン パブリック</li> <li>○ コレクションサーバ パブリック</li> <li>アセット管理</li> </ul>	CBT101	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	8995614f-c29a-4af0-b31a-4a8acd6c6c9dd
	CBT102	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7b77cc14-8d1c-44f3-8a24-e8a7cbd811ae
	CBT103	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e13620a3-e709-4d5c-9b4b-57912c395982
	CBT104	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9b31ab34-4d05-4a79-8963-24076a2056f
	CBT105	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e0b98d8-1be6-4907-94e3-1b583b0076c
	CBT106	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2a3d9147-9cef-49e1-8413-24313572d60d
	CBT107	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2f51db7e-cbab-4439-a017-47a41841b06
	CBT108	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	761e19c3-99d3-461e-8e9b-406661e341ca
	CBT109	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2b58db3e-445b-4c4f-8a80-1794b02e5ca8
	CBT110	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6a36c327-794b-4bb3-a0dd-65247116b9d
	CBT111	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7211b256-29e0-4366-8103-cdbdbd264e0a
	CBT112	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6d35657c-9102-466d-89c0-0b46183ae201
	CBT113	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9d560a1b-3956-4271-b9d6-6d4810971c7
	CBT114	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	add35ae-c6d1-4987-90a4-273iddce521c
	CBT115	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	b3e6704c-04f7-46f5-bc79-56604bc09525
	CBT116	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	c03ac379-9a95-4715-949a-4832407bb395
	CBT117	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	09015715-2178-471d-953a-74a0382d6991
	CBT118	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a2beecae-6bbd-432c-a397-9e804ac47799
	CBT119	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fd55f823-a2be-4588-9112-2b95d711ccbc
	CBT120	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6b86edaa-294a-4bd7-a41e-49227cf89d4c
	CBT121	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e3cb2de-b1a6-47b3-9fed-d8ce5ae2b1ce
	CBT122	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	33c-a157d-e620-4f4e-a06a-973b7724b4c4
	CBT123	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	3022bad-02da-4984-9770-6a50d1926179
	CBT124	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	1650bc31-63b0-40e1-9e1c-55fcca8bb42
	CBT125	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fa73b597-9b3e-414b-b8ea-08cedc28868
	CBT126	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fe440a0-63df-4924-986c-bbcc099ab14f
	CBT127	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	34ce1be-d650-4272-ac41-44d19007c02e
	CBT128	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6401e911-7313-407e-ab6a-7c537c52e980
	CBT129	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea52d457-4067-48bd-9765-6407d9058bed
	CBT130	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	90453656-4261-4655-931e-b4f51ac97c1e
	CBT131	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	465b094-1611-4be2-b09a-76d11e9d768a
	CBT132	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a8ad05ca-4ce1-4b9b-9b77-364706dfb0bb
	CBT133	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a1e805c2-c741-4a41-888a-3a41107a-3074c

- 4 [アセット管理] を右クリックし、[すべてのアセット管理データのマイグレート] を選択します。
- 5 (オプション) [移行する項目] タブをクリックしてマイグレートされる項目を確認します。
- 6 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。  
[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

## 1.6.5 アセット管理データのみをマイグレート

アセット管理データ (22 ページのセクション 1.6.4 「アセット管理データのマイグレート」を参照) とアセット管理カスタムレポートおよび管理者定義フィールドをマイグレートする場合は、次を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」 および 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを開きます。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [ADF 定義]、[ローカル製品の定義]、および [カスタムレポートの定義] の順に選択します。

---

**注:** ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なカタログ製品とライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

---

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [移行するするオブジェクトの選択] タブで、次を実行します。
  - 7a [User Defined Fields (ユーザ定義フィールド)] を右クリックし、[Migrate All User Defined Fields (すべてのユーザ定義フィールドのマイグレート)] を選択します。

7b [ローカル製品] を右クリックして [すべての製品の定義をマイグレート] を選択します。

7c [カスタムレポート] を右クリックして [すべてのカスタムレポートをマイグレート] を選択します。

8 [マイグレーションの開始] をクリックしてマイグレーションが終了するのを待ちます。

9 **ステップ 3** を繰り返して [オプション] ウィンドウをもう一度開きます。

10 [定義のみを移行] をオフにします。

11 [OK] をクリックします。

12 [移行するするオブジェクトの選択] タブをクリックします。

名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子
CBT1001	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	8995614f-c29a-4af04b31e-4a8acd6c69dd
CBT1002	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7bf7cc14-8d1c-44f9-8a24-e8a7cbd81fae
CBT1003	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e13620a3-e709-4d5c-964b-57912c395982
CBT1004	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9661aba3-4dd5-4a7d-8563-2407b8a2056f
CBT1005	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea0b9b09-1be6-4907-94e3-1b532b007b7c
CBT1006	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2a3d9147-9eaf-40e1-9413-24313572a6bd
CBT1007	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2f61db7e-cbab-4439-a017-47a41841b006
CBT1008	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	761e1963-99d3-461e-8e9b-406661e341ca
CBT1009	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2fb8db36-446b-4e41-8a80-1784b02efca8
CBT1010	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6a36c327-79d8-4fb3-a0dd-d524711669d
CBT1011	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	721b256-23e0-4366-8f03-cdbdb52b4e0a
CBT1012	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6d59587c-9f02-466a-89cd-0ba6183ca201
CBT1013	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9d5601b-3956-4271-b9d6-6d4810971c7
CBT1014	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	add35aa-c6d1-4987-90a4-273d1ce52fc
CBT1015	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	b3e67d4c-d4f7-46f5-bc79-66604bcd5825
CBT1016	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	c80ac379-0a95-4715-949e-4832467dbb95
CBT1017	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	09015715-2f78-471d-953a-74a0382d59f1
CBT1018	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a2b8ee-a8-63bd-432c-a037-9e840ac47799
CBT1019	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fd59823-a2be-4589-9112-2b95d711c8c
CBT1020	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6b66eda-294a-4bd7-4fe4-45227c8994c
CBT1021	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e3cbd2de-b1a6-47b9-9fed-d8ce5ae2b1ce
CBT1022	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	39ca157d-e620-44ae-a46a-975b7724b4c4
CBT1023	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	30f2baad-02ba-49f4-9770-6a50d1926179
CBT1024	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	1650a-c31-6360-40e1-9e1e-951cca8b442
CBT1025	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fa73b57-9c3e-414b-b8ea-08cedc2f8689
CBT1026	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fe440a0-63af-4924-986c-bbcc099ab14f
CBT1027	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	34cae1be-d660-4272-ac41-44419007c02e
CBT1028	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6401e91f-7313-407e-abe5-7c837c52ee80
CBT1029	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea52da57-4067-48bd-9785-6407d9058bed
CBT1030	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	90493696-4261-4655-939e-148f1e571e
CBT1031	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	465a0f94-1611-4bc2-b02a-76d11e3d789a
CBT1032	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a9ad05ca-4ce1-4b3b-9b77-364706d0b0b
CBT1033	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a0482562-2741-4a40-88a-3a107a-30f4c

13 [アセット管理] を右クリックし、[すべてのアセット管理データのマイグレート] を選択します。

14 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。

[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

## 1.6.6 ライセンス記録のマイグレート

ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録は、ZENworks 10 Asset Management ではライセンスエンタイトルメントを含むライセンス製品に置換されました。ライセンスエンタイトルメントには、コンプライアンスおよび所有権の証明に必要な情報が含まれます。

ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録が ZENworks 10 Asset Management にマイグレートされると、ZENworks 10 Asset Management に単一のライセンスエンタイトルメントを持つライセンス製品が作成されます。ライセンスエンタイトルメントには、以前 ZENworks Asset Management 7.5 ライセンス記録に関連付けられていたすべてのコンプライアンスおよび所有権の証明の情報が含まれます。次のものが含まれます。

- ◆ 調整済みの検出された製品
- ◆ 調整済みの検出された製品 ( および関連購買記録 )

- ◆ 添付ドキュメント
- ◆ 関連契約書

ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

バージョンがアップグレードされている ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録がある場合、アップグレードパス内のすべてのライセンス記録は、複数のライセンスエンタイトルメントを持つ、単一の ZENworks 10 Asset Management ライセンス製品に統合されます。アップグレードパス内の各ライセンス記録ごとに 1 つのエンタイトルメントとなります。

ZENworks Asset Management 7.5 では、バージョンのアップグレードは複数のソースにリンクできますが、ZENworks 10 Asset Management では、バージョンアップグレードのライセンスエンタイトルメントは元の単一のエンタイトルメントにしかリンクできません。ZENworks Asset Management 7.5 で複数のソースにリンクされていたアップグレードを所有している場合、マイグレーションの後、ZENworks 10 Asset Management で関連するライセンス製品およびライセンスエンタイトルメントを確認あるいは変更する必要があります。

## 1.6.7 カスタムレポートのマイグレート

次のトピックでは、カスタムレポートのマイグレートについて詳しく説明します。

- ◆ [25 ページの「マイグレートされるレポート」](#)
- ◆ [26 ページの「マイグレートされないレポート」](#)
- ◆ [27 ページの「ZENworks Asset Management のカスタムレポートのマイグレート」](#)

### マイグレートされるレポート

次の ZENworks Asset Management 7.5 カスタムレポートは、ZENworks 10 Asset Management にマイグレートできます。

- ◆ ワークステーションインベントリレポート
- ◆ ソフトウェア使用状況レポート
- ◆ ソフトウェア管理レポート
- ◆ 契約管理レポート

さらに、カスタムレポートアラート/スケジュールと、ZENworks Asset Management 7.5 の電子メールリストは、カスタムレポートと一緒にマイグレートされます。マイグレーションの後、ZENworks 10 Asset Management は実行する必要があるかどうかを判断するために各レポートを検査します。レポートの結果を CSV フォーマットで添付するオプションは、マイグレーション中に Excel フォーマットで添付するよう変更されます。

特定のレポートページに移動して [スケジュール/通知] をクリックすると、ZENworks Control Center のレポートでスケジュール情報を参照できます。[[環境設定] > [アセットインベントリ] の順にクリックすると、電子メールリストを参照できます。

## マイグレートされないレポート

次のレポートはマイグレートされません。

- ◆ 次のフィールドを含むレポート：
  - ◆ ワークステーションはチェックアウトしています
  - ◆ ワークステーションはチェックインしています / 期限切れです
  - ◆ 製品のライセンス数
  - ◆ 製品のライセンス ID
  - ◆ 製品のライセンス名
  - ◆ (製品) 必要なライセンス
  - ◆ 製品プラットフォーム
  - ◆ 最後にスキャンした日付 / 時刻
  - ◆ デフォルトゲートウェイ (ワークステーション)
  - ◆ サブネットマスク (ワークステーション)
  - ◆ 超えている / 未満 (サマリ) (ソフトウェアコンプライアンス)
  - ◆ 接続情報、コレクションサーバ、または収集ドメインに関連する任意のフィールド

1つまたは複数のフィールドを含むレポートをマイグレートする場合は、これらのフィールドが削除された ZENworks Asset Management 7.5 のバージョンのレポートを作成してから、そのバージョンをマイグレートします。これらのフィールドを削除しない場合、レポートのどの部分もマイグレートされません。レポートをマイグレートできるのは一度だけであることに注意してください。

- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 と同等のレポートによって配布されたカスタムレポートは、ZENworks 10 Asset Management で使用できます。ZENworks Asset Management 7.5 でこれらのレポートに変更を加えており、その変更を保存したい場合は、レポートをマイグレートする前にコピーを作成し、そのコピーがマイグレートされます。
- ◆ 保存されたレポートの結果(保存されたレポートの結果はZENworks Asset Management 7.5 で参照できます。)
- ◆ レポートフォルダの権限。デフォルトでは、すべての ZENworks 10 Asset Management ユーザが、マイグレートされたレポートフォルダに対して読み取り専用のアクセス権を持っています。
- ◆ 次のフォーカスがあるレポートはマイグレートされません。
  - ◆ 接続情報
  - ◆ コンポーネントフィルタリング
  - ◆ ハードウェア - DMI
  - ◆ ライセンス割り当て - 人口統計
  - ◆ ライセンス割り当て - ワークステーション
  - ◆ ライセンス - 関連ドキュメント
  - ◆ 購入 / ライセンス / インベントリインフラストラクチャ

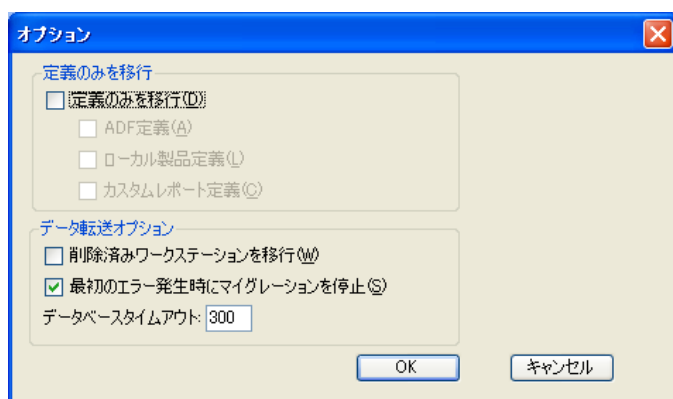
- ◆ 次の条件を満たす場合、レポートにワークステーションの条件を含める、またはレポートにワークステーションの条件を含めないで報告されます。
  - ◆ 参照されているレポートはマイグレートされません。参照レポートは、ZENworks 10 Asset Management によって配布される事前定義されたレポートの 1 つではありません。
  - ◆ カスタムレポートは、事前定義されたレポートに基づいており、レポート定義は ZENworks 10 Asset Management で変更または削除されています。

**注:** ハードウェアシステムボードレポートを ZENworks 10 Asset Management にインポートする際、ZENworks Asset Management 7.5 のバグによってエラーが発生する可能性があります。これは ZENworks Asset Management 7.5 では Bus 1 Slot カラムおよび Bus 2 Slot カラムの両方がデータベースの Bus 2 Slot カラムにリンクされているためです。これらのカラムの両方を含むレポートは次のエラーメッセージを引き起こします: NC\_SystemBoard.Bus2Slots が一意ではありません。これを解決するには、レポート定義に移動して、選択されたカラムのリストからどちらかの Bus 2 Slot カラムを削除します。

## ZENworks Asset Management のカスタムレポートのマイグレート

カスタムレポートは、最初にインベントリのマイグレーションが実行される時自動的にマイグレートされます。インベントリデータではなく、カスタムレポートだけをマイグレートする場合は、次を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management マイグレーションユーティリティ] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーション元の選択」 および 16 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているとおり、ZENworks Asset Management 7.5 データベースおよび ZENworks 10 の管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを開きます。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [カスタムレポート定義] を選択します。

レポートはグループでマイグレートされます。個別にはマイグレートできません。カスタムレポート定義と一緒にまたはその前に、管理者定義フィールドの定義をマイグレートする必要があります。管理者定義フィールドの定義がマイグレートされないと、管理者定義フィールドカラムを含むカスタムレポートはマイグレーションからブロックされます。

6 [OK] をクリックします。

7 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。

[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。マイグレートされたフォルダは、フォルダ名の先頭に migrate というプレフィックスが追加されます。

## 1.6.8 マイグレーションパフォーマンスのガイドライン

インベントリに少数のデバイスしかない場合を除き、すべてのインベントリデータをマイグレートするには、アセット管理データだけをマイグレートするよりもはるかに時間がかかります。次に記載するガイドラインは一般的な内容で、実際のパフォーマンスは次のようないくつかの要因によって異なります。

- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 および ZENworks 10 Asset Management のデータベースをホストしているデータベースサーバの環境設定
- ◆ ネットワークの速度と環境設定
- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 データベースの使用量および履歴データの量

マイグレーションプロセスを開始する前に、ZENworks Asset Management 7.5 データベースをバージョンアップしておくことを強く推奨します。

- ◆ [28 ページの「SQL サーバへのマイグレーション」](#)
- ◆ [28 ページの「Sybase Embedded へのマイグレーション」](#)
- ◆ [28 ページの「Oracle へのマイグレーション」](#)

### SQL サーバへのマイグレーション

- ◆ 小規模 (200 デバイス) のデータベースは 30 分以内で完了します。
- ◆ 中規模 (1500 デバイス) のデータベースは 1 時間以内で完了します。
- ◆ 非常に大規模な (30,000 デバイス) データベースは 12 ~ 24 時間かかります。

### Sybase Embedded へのマイグレーション

- ◆ 小規模 (200 デバイス) のデータベースは 30 ~ 45 分以内で完了します。
- ◆ 大規模 (1000 デバイス) のデータベースは 1 時間以内で完了します。

### Oracle へのマイグレーション

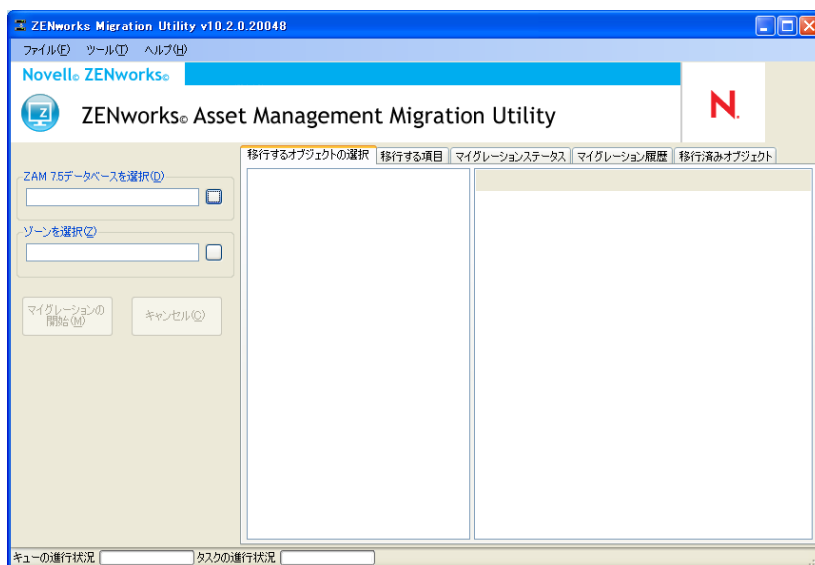
- ◆ マイグレーションするデバイスあたり 30 ~ 45 秒かかります。

# マイグレーションコンソールの参照

# 2

Novell® ZENworks® 10 Asset Management マイグレーションユーティリティにログインすると、マイグレーションコンソールが表示されます。

図 2-1 マイグレーションコンソール



次のセクションでは、コンソール機能のナビゲーションと使用に役立つ参照情報を提供します。

- ◆ 30 ページのセクション 2.1 「メニューオプション」
- ◆ 30 ページのセクション 2.2 「[移行するするオブジェクトの選択] タブ」
- ◆ 32 ページのセクション 2.3 「[移行する項目] タブ」
- ◆ 32 ページのセクション 2.4 「[マイグレーションステータス] タブ」
- ◆ 32 ページのセクション 2.5 「[マイグレーション履歴] タブ」
- ◆ 32 ページのセクション 2.6 「[移行済みオブジェクト] タブ」
- ◆ 32 ページのセクション 2.7 「[ZAM 7.5 データベースを選択] フィールド」
- ◆ 34 ページのセクション 2.8 「[ゾーンを選択] フィールド」
- ◆ 35 ページのセクション 2.9 「[マイグレーションの開始] ボタン」
- ◆ 35 ページのセクション 2.10 「[キャンセル] ボタン」
- ◆ 35 ページのセクション 2.11 「マイグレーションキューの進行状況」
- ◆ 35 ページのセクション 2.12 「マイグレーションタスクプロセス」

## 2.1 メニューオプション

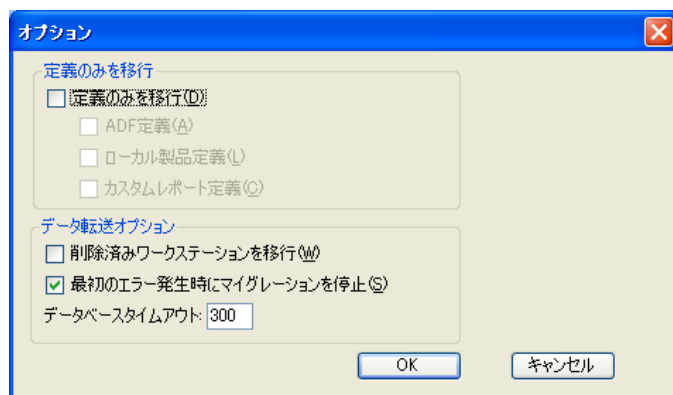
次のオプションを指定できます。

- ◆ **ファイル**：[ファイル] > [終了] の順にクリックしてマイグレーションコンソールを終了します。
- ◆ **ツール**：[ツール] > [オプション] の順にクリックして [オプション] ウィンドウを開き、マイグレートするオブジェクトの定義、管理者定義フィールドの定義、ローカル製品の定義、またはカスタムレポートの定義を選択します。インベントリデータをマイグレートしない場合に限り、これらのオプションを選択します。インベントリデータをマイグレートする場合は、これらの定義はデフォルトでマイグレートされます。詳細については、17 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」を参照してください。

[オプション] ウィンドウでは、データ転送オプションも選択できます。

- ◆ **削除済みワークステーションのマイグレート**：ZENworks® Asset Management 7.5 では削除としてマークされているワークステーションをマイグレートするには、このオプションを選択します。
- ◆ **最初のエラーでマイグレーションを停止**：最初にエラーが発生した時点でマイグレーションプロセスを停止するには、このオプションを選択します。
- ◆ **データベースタイムアウト**：このオプションによって、クエリがタイムアウトするまでの時間を設定できます。デフォルト値は 300 秒です (5 分)。低速または混雑している接続でクエリを行っている場合は、この値を増やす必要があるかもしれません。

図 2-2 [オプション] ウィンドウ



## 2.2 [移行するするオブジェクトの選択] タブ

[移行するするオブジェクトの選択] タブをクリックしてマイグレート可能なオブジェクトを表示します。これらのオブジェクトのマイグレーションの詳細については、17 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」を参照してください。

- ◆ **インベントリ**：エンタープライズ用のインベントリデータ。これらのオブジェクトを使用してインベントリデータをマイグレートします。詳細については、18 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータのマイグレート」を参照してください。

- ◆ **管理者定義フィールド** : ZENworks Asset Management 7.5 に定義されているカスタムフィールド。(アセット管理管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドとして知られています。) 管理者定義フィールドの定義だけ、またはデータ値と一緒にフィールド定義をマイグレートするよう選択できません。詳細については、[20 ページのセクション 1.6.2 「管理者定義フィールドの定義のマイグレート」](#) を参照してください。
- ◆ **ローカル製品** : 作成されてインベントリの一部としてトラックされるよう識別されるソフトウェア製品。定義のみがマイグレートされ、インベントリデータはマイグレートされません。詳細については、[21 ページのセクション 1.6.3 「ローカル製品の定義のマイグレート」](#) を参照してください。
- ◆ **アセット管理** : エンタープライズのアセット管理データこれらのオブジェクトを使用してアセット管理データをマイグレートします。詳細については、[22 ページのセクション 1.6.4 「アセット管理データのマイグレート」](#) を参照してください。
- ◆ **カスタムレポート** : ZENworks Asset Management 7.5 で定義されているインベントリおよびアセット管理カスタムレポート。これらのオブジェクトを使用してカスタムレポートをマイグレートします。詳細については、[25 ページのセクション 1.6.7 「カスタムレポートのマイグレート」](#) を参照してください。
- ◆ **削除済みワークステーション** : ZENworks Asset Management 7.5 では削除済みとしてマークされているワークステーション。削除済みとしてマークされているワークステーションをマイグレートするには、このオプションを選択します。詳細については、[18 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータのマイグレート」](#) を参照してください。

コレクションサーバをクリックして、右側のパネルにそのグループ内のワークステーションを表示します。[**削除済みワークステーション**] をクリックして、右側のパネルに ZENworks Asset Management 7.5 では削除済みとしてマークされているワークステーションを表示します。ワークステーション名、インベントリタイプ、マイグレートされた日付、一意の識別子が表示されます。

図 2-3 [移行するオブジェクトの選択]

移行するオブジェクトの選択	移行する項目	マイグレーションステータス	マイグレーション履歴	移行済みオブジェクト
インベントリ	名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子
<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 収集ドメイン: LFT-BRE</li> <li>☑ 収集ドメイン: LFT-FRA <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ コレクションサーバ: SNT-FRALFT-AP</li> </ul> </li> <li>☑ 収集ドメイン: パブリック <ul style="list-style-type: none"> <li>☑ コレクションサーバ: パブリック</li> </ul> </li> </ul>	CBT1101	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	8995614f-c29a-4af0-b31a-4a8acc6c93dd
	CBT1102	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	7bf7cc14-9d1c-44f9-9a24-e8a7cbbd811ae
	CBT1103	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	e113c20a3-6709-449c-964b-57912c395902
	CBT1104	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	95b1aba3-4d55-4a7d-8559-2407b5a2056f
	CBT1105	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	ea0b98d8-1be6-4907-94e3-1b583b007b7c
	CBT1106	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	2a3d9147-9ce4-48e1-9413-24313572d50d
	CBT1107	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	2161db7e-cbab-4439-a017-47a41841b006
	CBT1108	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	761e1963-98d3-481e-9e9b-40b661e341ca
	CBT1109	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	21bcb039-446b-4c4f-9a80-17949026e6a9
	CBT1110	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6a36c327-79d8-4fb3-a0d4-d524711699d
	CBT1111	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	721b256-29e0-4366-8003-cdbdbd2b4e0a
	CBT1112	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6d36657c-90c2-466d-89c0-0b46183ae201
	CBT1113	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	9d560a1b-3956-4271-b9d6-6d4810971c7
	CBT1114	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	add35ae-c6d1-4987-90a4-273d1ce52c
	CBT1115	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	b3e67d4c-0477-4915-bc79-6650a0cb5e25
	CBT1116	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	c88ac379-6a95-4715-943a-4832487db895
	CBT1117	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	09015715-2178-471d-953a-74a0382d85f1
	CBT1118	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a2beeca6-6bbd-432c-a397-8e940ac47799
	CBT1119	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fd5f823-a2be-4588-9112-2b95d71ccbc
	CBT1120	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6b86eda9-294e-4bd7-a41e-49227cf89d4c
	CBT1121	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	e3cb2d9e-b1a6-471b-9fed-d8eaf5ac2b1ce
	CBT1122	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	33ca157d-e5c0-404e-a46a-975b77248a4
	CBT1123	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	3012bad-02da-48f4-9770-6a50d1926179
	CBT1124	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	1650bc31-63b0-40e1-9e1c-95fcca8bfb42
	CBT1125	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fa73bf57-9b3e-414b-b8ea-08cccd28868
	CBT1126	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fe440a0-63df-4324-986c-bbcc099ab14f
	CBT1127	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	3f4e1be-d660-4272-ac41-44d19007c02e
	CBT1128	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6401e911-7313-407e-abe5-7c53f0c2ee60
	CBT1129	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	ea52da57-4067-48bd-9765-6407d9058bed
	CBT1130	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	90453656-4261-4659-991e-b4f51e9c97c1e
	CBT1131	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	465b094-1611-4be2-b09a-76d11e9d768a
	CBT1132	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a8ad05ca-4ce1-4b9b-9b77-364706db0bb
	CBT1133	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a1e829c2-7ad1-4a0f88aa-3a1072-9074e

## 2.3 [移行する項目] タブ

[移行する項目] パネルには、選択した各オブジェクトの名前、オブジェクトタイプ、および一意の識別子が表示されます。オブジェクトを右クリックし、[マイグレーションキューから項目を削除] を選択してマイグレーションリストからオブジェクトを削除します。

## 2.4 [マイグレーションステータス] タブ

オブジェクトをマイグレートする際、マイグレーションの進行状況および詳細を表示する [マイグレーションステータス] タブに自動的に移動されます。

## 2.5 [マイグレーション履歴] タブ

[マイグレーション履歴] タブは、オブジェクトのタイプ、ステータス、およびマイグレーションの日付と共に、どのオブジェクトがマイグレートされたのかを表示します。特定のマイグレートされたオブジェクトのステータスの詳細を表示するには、オブジェクトを右クリックして、[Detailed Status (詳細ステータス)] を選択します。[マイグレーションステータス] タブは、マイグレートに関する詳細を開きます。マイグレートされたオブジェクトの詳細リストを表示するには、オブジェクトを右クリックして [マイグレートオブジェクト] を選択します。[マイグレートオブジェクト] タブは、マイグレートされたオブジェクトの詳細リストを開きます。

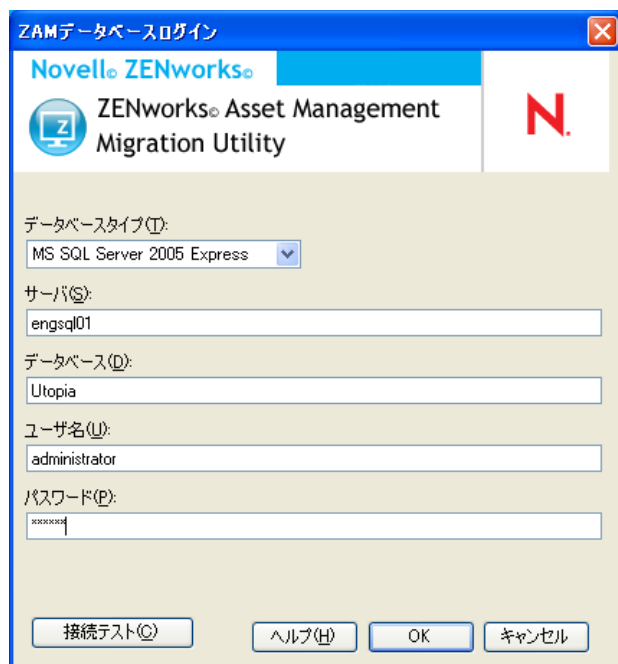
## 2.6 [移行済みオブジェクト] タブ

[マイグレートオブジェクト] タブは、オブジェクトのタイプ、マイグレートされた日付、およびオブジェクトの一意の識別子を含む、正常にマイグレートされたオブジェクトが表示されます。

## 2.7 [ZAM 7.5 データベースを選択] フィールド

[ZAM 7.5 データベースを選択] フィールドは、ソースデータベースである ZENworks Asset Management 7.5 データベースを示します。[データベースタイプ] フィールドの右にあるボタンをクリックして、[ZAM データベースログイン] ダイアログボックスを開きます。ここからソースデータベースにログインできます。Microsoft SQL のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

図 2-4 Microsoft SQL サーバマイグレーションのための ZAM データベースへのログイン



**データベースタイプ:** データベースタイプを指定します。たとえば、外部および組み込み MS SQL Server の両方のデータベースに [MS SQL Server 2000/2005] を指定します。

**データベースサーバ:** データベースサーバの DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサーバがここに表示されます。

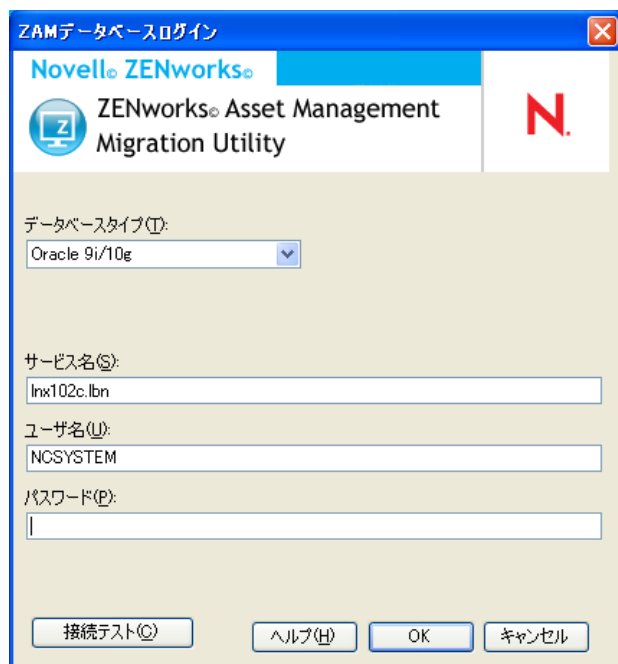
**データベース:** データベース名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたデータベースがここに表示されます。

**ユーザ名:** ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

**パスワード:** パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

Oracle のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

図 2-5 ZAM データベースログイン



**データベースタイプ:** データベースタイプを指定します。たとえば、最新の Oracle データベースタイプに、[Oracle 9i/10g] を指定します。

**サービス名:** Oracle のマイグレーションでは、サービス名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサービスがここに表示されます。

**ユーザ名:** ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

**パスワード:** パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

## 2.8 [ゾーンを選択] フィールド

[ゾーンを選択] フィールドには、マイグレーション先である ZENworks 10 Configuration Management の管理ゾーンが表示されます。フィールドの右にあるボタンをクリックして、[ゾーンログイン] ダイアログボックスを開きます。そこから、マイグレーション先のデータベースを選択できます。

図 2-6 ゾーンログイン



**ゾーン:** 管理ゾーンを指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたゾーンがここに表示されます。

**ユーザ名:** ゾーンのユーザ名を指定します。[管理者] が通常使用されます。

**パスワード:** パスワードを指定します。これは、認証のたびに入力する必要があります。

**プライマリサーバ:** DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このフィールドは、管理ゾーンを [ゾーン] フィールドで選択する場合には、自動的に入力されます。

## 2.9 [マイグレーションの開始] ボタン

マイグレートするオブジェクトを選択した後に、[マイグレーションの開始] をクリックしてマイグレーションプロセスを開始します。

## 2.10 [キャンセル] ボタン

[キャンセル] ボタンをクリックすると、その時点でマイグレーションプロセスが停止します。[キャンセル] ボタンを押したときにすでにマイグレートされているオブジェクトはロールバックされません。

## 2.11 マイグレーションキューの進行状況

コンソールウィンドウの下部にあるこのインジケータは、マイグレーションキューの進行状況を示します。

## 2.12 マイグレーションタスクプロセス

コンソールウィンドウの下部にあるこのインジケータは、マイグレーションタスクの進行状況を示します。



# ZENworks オブジェクトとその一意性

# A

アセット管理データのマイグレーション中は、アセット管理オブジェクト (購入レコード、ライセンス製品など) の大半は、ZENworks 10 Asset Management 内の重複オブジェクトをチェックせずにマイグレートされます。これにより、ZENworks Asset Management 7.5 からマイグレートされたオブジェクトと一致するオブジェクトが ZENworks 10 Asset Management 内にあると、次の結果につながります (各オブジェクトタイプの重複判断については、[37 ページのセクション A.1 「重複オブジェクトの詳細」](#) を参照)。

- ◆ エラーによってマイグレーションプロセスが再起動された場合、ZENworks Asset Management 7.5 データの一部はすでにマイグレートされています。マイグレート済みのオブジェクトは拒否され、マイグレーションユーティリティからエラーが報告されます (重複キー違反)。
  - ◆ SQL サーバ上で実行している ZENworks 10 Asset Management にマイグレートする場合、[*Stop Migration on First Error*( 最初のエラーでマイグレーションを停止 )] 設定をオフにしておく、重複を修正してマイグレーションユーティリティを再起動することができます。
  - ◆ Sybase または Oracle 上で実行している ZENworks 10 Asset Management にマイグレートする場合、ZENworks Asset Management 7.5 および ZENworks 10 Asset Management のバックアップを復元し、重複を解決して再度マイグレーションユーティリティを実行する必要があります。
- ◆ オブジェクトが重複しており、オブジェクトの ZENworks 10 Asset Management バージョンがサブフォルダにはない場合、マイグレーションユーティリティはエラーを発生します。マイグレーションユーティリティが処理中だった重複オブジェクトの一部、または全部 (ライセンスなど) が、ZENworks 10 Asset Management に移動されません。
- ◆ オブジェクトが重複しているが、オブジェクトの ZENworks 10 Asset Management バージョンがサブフォルダにある場合は、マイグレーションユーティリティが ZENworks 10 Asset Management にオブジェクトを追加します。ZENworks 10 内の別なフォルダに同じ名前の 2 つのオブジェクトが配置されます。例外は契約で、ZENworks 10 Asset Management がサブフォルダ内にあっても、重複した契約 ID を許可しません。

## A.1 重複オブジェクトの詳細

- ◆ [38 ページのセクション A.1.1 「購入レコード」](#)
- ◆ [38 ページのセクション A.1.2 「カタログ製品」](#)
- ◆ [38 ページのセクション A.1.3 「ライセンス製品」](#)
- ◆ [38 ページのセクション A.1.4 「検出された製品」](#)
- ◆ [38 ページのセクション A.1.5 「ソフトウェアコレクション」](#)
- ◆ [38 ページのセクション A.1.6 「契約」](#)
- ◆ [39 ページのセクション A.1.7 「日付通知」](#)
- ◆ [39 ページのセクション A.1.8 「文書」](#)

### A.1.1 購入レコード

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、PO 番号と注文日の組み合わせです。PO 番号が空でなければ、マイグレーション中は PO 番号が使用されます。空の場合は、新規作成 PO 番号の一部として注文日が使用されます。

### A.1.2 カタログ製品

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + 製品タイプ + バージョン + パッケージごとのライセンスの組み合わせです。

### A.1.3 ライセンス製品

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + バージョン情報の組み合わせです。ライセンスは重複していないが、ZENworks 10 の既存のライセンスに関連付けられている関連のカタログ製品がある場合は、データベースでは同一のカタログ製品を複数のライセンスに関連付けることができないため、マイグレーションユーティリティはエラーを発行します。

ライセンスは重複していないが、ZENworks 10 Asset Management の既存のライセンスに関連付けられている検出済みの製品がある場合は、マイグレーションは続行します。検出された製品は両方のライセンスのインストールとしてカウントされるので、2 つのライセンスの使用番号は正確ではありません。ZENworks 10 Asset Management のいずれかのライセンスから、検出した製品を削除する必要があります。

### A.1.4 検出された製品

マイグレーションユーティリティはローカル製品だけをマイグレートします。重複はマイグレートしません。

### A.1.5 ソフトウェアコレクション

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + バージョン情報の組み合わせです。ZENworks Asset Management 7.5 では、コレクションに重複している値を入力すると、ZENworks Asset Management が製品値を増やします。

同じメンバー製品を必要とする ZENworks Asset Management 7.5 と ZENworks 10 Asset Management で、重複していないコレクションが定義されると、マイグレーションユーティリティはこのデータを ZENworks 10 に転送します。これによって両方のコレクションが同じ製品に対してインストールをカウントしてしまうので、ZENworks 10 Configuration Management で修正する必要があります。

### A.1.6 契約

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは契約 ID です。他のアセット管理オブジェクトとは異なり、ZENworks 10 Asset Management では同じ契約 ID で複数のフォルダに契約を作成することはできません。ZENworks Asset Management 7.5 内の契約で、ZENworks 10 Asset Management の契約 ID と一致するものは、マイグレートされません。

## A.1.7 日付通知

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、ランダムに生成された識別子です。ZENworks Asset Management 7.5 では、通知のすべての列に重複値を使用することはできません。ZENworks 10 Asset Management では各フォルダ内で一意な通知名が必要です。ZENworks Asset Management 7.5 に重複した名前の通知がある場合、マイグレーションは失敗します。

## A.1.8 文書

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、ランダムに生成された識別子です。ZENworks Asset Management 7.5 では、ドキュメントのすべての列に重複した値を使用することはできません。ZENworks 10 Asset Management では各フォルダ内で一意なドキュメント ID が必要です。ZENworks Asset Management 7.5 に重複したドキュメント ID がある場合、マイグレーションは失敗します。



# 用語集

## 管理者定義フィールド

アセットインベントリの場合、このフィールドを使用するとカスタムユーザ、ワークステーション、コンポーネント、または製品フィールドを作成できます。アセット管理の場合は、契約管理製品フィールドを作成できます。ZENworks® Asset Management 7.5 では、管理者定義フィールドはユーザ定義フィールドとして知られています。

## アセット管理データ

データには次のものが含まれます。

- アセット管理使用データ・アセット管理カスタムレポート・アセット管理管理者定義フィールド・カタログ製品・検出された製品・購買記録・ライセンス製品・ソフトウェアコレクション・契約および日付通知・ドキュメント

## 収集ドメイン

ZENworks Asset Management 7.5 ではエンタープライズを論理グループに分類するのに使用されます。

## コレクションサーバ

特定のマシンにあるソフトウェアで、選択されたワークステーショングループからインベントリデータを収集し、中央のインベントリデータベースにロードします。

## カスタムレポート

特定の機能に適用されるアセット管理レポートまたはインベントリレポート。

## 削除済みのワークステーション

ZENworks Asset Management 7.5 では削除としてマークされているデバイス。削除としてマークされたデバイスは、完全にパージされるまですべての属性、履歴、およびコンポーネントと一緒にデータベース内に保存されたままです。パージされると、すべての関連データと一緒にインベントリデータベースから削除されます。

## デバイス

ZENworks 10 Asset Management では、デバイスはワークステーションまたはサーバ、ZENworks Asset Management 7.5 では、デバイスはネットワーク検出デバイスのことを指します。

## インベントリデータ

データには次のものが含まれます。

- デバイス・デバイス履歴・ローカルソフトウェア製品・ハードウェアおよびソフトウェアコンポーネント・管理者定義フィールド・カスタムレポート

## ローカル製品

インベントリスキャンで識別できるように定義されている製品。

## 使用データ

インベントリに関連付けられたデータで、ハードウェアコンポーネント、ソフトウェアコンポーネント、ユーザ名、使用時間などが含まれます。

## ユーザ定義フィールド

41 ページの「[管理者定義フィールド](#)」を参照してください。ZENworks Asset Management 7.5 では、アセット管理管理者定義フィールドはユーザ定義フィールドとして知られています。